

第5回日本緩和医療薬学会年会 市民公開講座
厚生労働省委託事業「緩和ケア普及啓発事業」Orange Balloon Project

共に考えよう…家族ががんになったとき
～親と子の絆、そして社会のサポート～

- 日時：2011年9月23日（金）13：30～16：00
- 場所：幕張メッセ 国際会議場
- 参加者：150名

平成23年度厚生労働省委託事業
オレンジバルーン・プロジェクト：Orange Balloon Project

第5回
日本緩和医療薬学会年会 市民公開講座
The 5th Annual Meeting of Japanese Society for Pharmaceutical Palliative Care and Sciences

事前のお申し込みは必要ございません。当日会場までお越し下さい。

共に考えよう…家族ががんになったとき
～親と子の絆、そして社会のサポート～

会費無料
(定員600名様)

1. 親ががんになったとき
—子育て中のがん患者さんとお子さんへのサポート—
小林真理子先生(放送大学大学院 准教授 臨床心理士)

2. 子どもががんになったとき
—成長していく子どもとその家族へのサポート—
片山麻子先生(財団法人がんの子供を守る会 ソーシャルワーカー)

日時 2011年9月23日(金)
[13:30～16:00]
(受付開始 13:00)

会場 幕張メッセ 国際会議場2F
コンベンションホールB

主催：第5回日本緩和医療薬学会年会 共催：日本緩和医療学会
会長 武田 弘志 国際医療福祉大学 薬学部 学部長・教授
大学院 薬科学研究所 研究科長

お問い合わせ先 運営事務局：〒102-0075 東京都千代田区三番町2-3番町 KSビル 南コンベンションリンクージ内
TEL：03-3263-8688 FAX：03-3263-8693 E-mail：kanwa-5@o-linkage.co.jp

【小林 真理子先生】



【片山 麻子先生】



● 企画報告：

日本緩和医療薬学会は、我が国における緩和医療の重要性を鑑み、病院薬剤師、保険薬局薬剤師ならびに薬学研究者間の連携、いわゆる薬・薬・学連携の強化を図り、緩和医療における薬物療法の推進と大学や企業での教育研究の発展を目的として平成19年に発足した学会です。この度、本学会は記念すべき5周年を迎え、「共に語ろう・・・緩和医療チームと薬剤師の未来」をメインテーマとした第5回日本緩和医療薬学会年会（以下、第5回年会）を、平成23年9月24日（土）ならびに25日（日）の2日間にわたり、幕張メッセ（千葉市）にて開催致しました。

我が国の緩和医療の発展には、医療従事者のみならず、患者やその家族を含む一般市民への啓発普及活動が重要です。そこで、第5回年会の前日（平成23年9月23日（金））に、放送大学大学院准教授・臨床心理士の小林真理子先生、ならびに財団法人がんの子供を守る会・ソーシャルワーカーの片山麻子先生を講師としてお招きし、「共に考えよう・・・家族ががんになったとき～親と子の絆、そして社会のサポート～」をメインテーマとした市民公開講座を開催致しました。

小林先生には、「親ががんになったときー子育て中のがん患者さんとお子さんへのサポートー」と題し、子育て中のがん患者とその子どもとのコミュニケーションに焦点を当て、子どもの発達に応じた心の理解と支援についてご講演頂きました。子どもは大人が思っている以上に敏感に状況を察知し不安を感じてしまう一方、困難を乗り越えていく大きな力も併せ持っていること、親のがんに子どもも共に向かい合っていくことで、家族は体験を共有し、家族の絆は深まっていくことをご教授いただきました。また、それらを可能にするために、家族と周囲の人々が連携していくことが望まれ、親の病気を子どもに伝えるために開発した絵本や、伝えた後のサポートの一つとして「子どもサポートグループ」の試みについてもご紹介いただきました。

片山先生には、「子供ががんになったときー成長していく子どもとその家族へのサポートー」と題し、入院生活による家族の二重生活、治療中の就学・進学等の教育問題、治療後の成長に伴う就職問題、さらには晩期合併症のリスクなど、小児がんに罹患した子どもとその家族をとりまく多くの問題をご提起頂きました。また、長期にわたる厳しい療養生活を乗り越えていくため、また、進学・就職・結婚など、いきいきとした社会生活を送ることのできる大人への成長を支援するためには、医療・教育・福祉関係者はもちろんのこと、一般市民も病気や患児・家族への理解を深めるなど、社会全体で子どもの日常生活を支える様々な配慮が必要であることを、片山先生が所属されている「財団法人がんの子供を守る会」の活動内容を踏まえてご教授頂きました。

今回の市民公開講座の実施については、第5回年会と共にメディアを通じて広報され、Orange Balloon Projectの活動が全国にアピールされました。

第5回日本緩和医療薬学会年会
会長 武田 弘志